

1. 待自心設備... 完全丁ル避難小屋  
 2. 給養施設... 分隊炊事ニ徹ス  
 3. 救護倉庫... 横穴式洞窟ニシテ入口部密閉  
 4. 個人裝備整頓... 兵舎後方ニ洞窟ニ兵舎上層ヲ連絡  
 5. 秘密遊撃據点... 一般避難民ト同様ニ編成  
 右ノ如キ待自心設備及武力戦ヲ準備シテモ高度分散ヲ實施シ  
 一般ノ上層ニ對シニ境知ニ滑リテシム  
 3. 伏撃地区ノ根柢山谷道ニ谷ノ地区ニ但要阻絶陷穽跡ノ係等各  
 種施設ヲ合理的ニ編成ス(據野戰陣地ニ準テ之)  
 4. 道路ノ器具ヲ甲ノルトナクシテ移動跡ヲ以テ散定ス  
 各山峯間ノ連絡路ハ直ニ必要ナルモノヲ以テ設置シ早急準備ニ務  
 3. 消滅セシム自心合流自給ニテ小徑ノ設置ス

第四部 要旨

時期	自一月三十一日 至二月十日	自二月十一日 至二月末日	自三月以降
準備事項(其他)	第二次(秘密)	第三次	
各隊全刀	兵舎全刀倉庫 其他一小隊 秘密據点 西江隊	西江隊	伏撃地区ノ散定ニ當リテハ散定ノ 訓練ヲ密ニ進めテ之ヲ計画ス
各隊兵	兵舎 西江隊		

三遊休命 第八號

第三遊撃隊命令

一 部隊ハ昭和十九年度終ニ備召集待命期間満了  
 時ニ於テ戦力弱化ヲ除去セントス  
 二 各隊召集事務分担者ハ昭和二十年度待命者要  
 員ヲ調査シ連名簿四部ヲ二月五日迄本部ニ提出ス  
 三 各隊召集本部ニ在リ

第三遊撃隊長 村上治夫

下達法 防務事務分担者ニ達後印刷配布  
 報告(通報)先 口支立ニ

二月七日 三座



三遊軍令第十一号

第三遊軍隊命令

二二四、〇八、〇  
仲尾 次

通信手教育ヲ國頭支隊ニ於テ実施セトスル

近藤軍曹ハ別紙通信手要員ヲ指揮シ一月五日

十二時迄ニ名護第三中學校ニ至リ鴻巣中尉ノ指示

ヲ受クベシ細部ニ関シテハ本人ニ指示ス

三ノ八仲尾次隊本部ニ九〇〇以降ノ名護町役場ニ在リ

第三遊軍隊長村上 治 夫

下達法 要旨下達後印刷交付

報告(通報)先 國支 IV 遊 軍通



別紙

第一中隊	上善兵	津波孝
第二中隊		岩真隆
第三中隊		山崎幹
第四中隊		玉城源
第一中隊	二善兵	比嘉真
第二中隊		宮城文
第三中隊		平良昌
第四中隊		比嘉宮
第一中隊		伊藤正
第二中隊		嘉吉
第三中隊		永倉
第四中隊		比嘉文
第一中隊		大城行
第二中隊		與那農
第三中隊		松川文
第四中隊		宮城文

石原廣文隊、實地、津波孝  
 林加命令不

第三遊撃隊命令

伊尾次

一 第三遊撃隊行命令者、第三遊撃隊之月、夕夕、遊撃隊召集

解除、引続キ、隨地構築下、夕夕、遊撃隊召集命令之ラル

二 部隊之月二十五日五時、放音、夕夕、遊撃隊召集ヲ解除シ

一月三十日六時、遊撃隊召集ヲ実施セントス

三 召集事、務ニ、處ニ、照、屋、屋、音、ヲ、指示セシム

四 予ハ、金武村役場ニ、八時以、降、仲屋、次、隊本部ニ、在リ

第三遊撃隊長

村上治夫



下達法 要示下達後印刷交付

報告(通)先 22A 二步百遊



三遊隊命令第十三号

第三遊隊命令

二月五日 一八〇〇  
仲尾 次

一 部隊ハシヨロ岳 據点ニ移駐セトス

二 各隊ハ現在構築中ノ兵舎ヲ遠カニ完成 湖ニ入時迄

主力ヲ移駐シ完了スベシ

三 給養其他ニ關シテハ各係ヨリ指示セシム

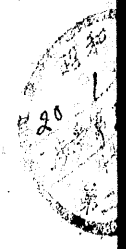
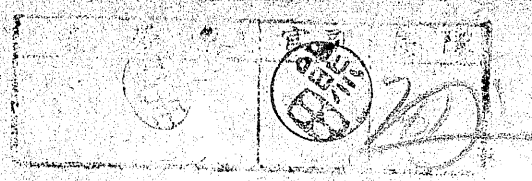
四 予ハ仲尾次隊本部ニ在リ

第三遊隊隊長

村上 治夫

下座 法 要 不 下 座 後 印 刷 交 付

報告(通)先 國 支 IV 遊



三遊作命令第一四号

三遊作隊

谷文岳

父

昭和二十一年

一 部隊ハ三遊作隊本部(備三概)集結ヲ完了セリ

二 部隊ハ引続キ三遊作命令第一九号ノ令後陣地構築計画ト照様

三 基ヲ基地ヲ設定セリトス

四 各隊ハ指示ノ指シル所ニ基ヲ設ケ陣地構築ヲ秘密監視ニシタル

五 基地ヲ二月十日迄ニ構立スベシ

六 細部ハ現地ニ於テ逐次指示ス

七 谷文岳據点ニ在リ

第三遊作隊長

村上治夫

八 下達法 指示下達後印刷交付

九 報告書 國支 IV遊作



三遊作命令十五号

才三遊撃隊命令

一月廿二日  
谷父去

一 三遊作命令十五号ニ依ル通信教育ヲ増強セントス

二 昭和二十年度才三遊撃隊警備ノ召集待命者中別紙要員

(本部通信班) 八月十日正午名護才三中学校ニ至リ近藤軍

曹ノ指揮ヲ受ケベシ

三 近藤軍曹前項必要員ヲ指揮シ口頭支隊通信教育ニ

参加スベシ

四 兵器被服給養ニ関シハ別ニ指示ス

五 才三谷父岳據点ニ在リ 才三遊撃隊長

村上治夫

下達法

待命者ニ要旨急使電話ヲ以テ傳達

報告(通報)先口支三遊

別紙ヲ附ス



別紙

通信要員連名表

幸地長栄
大城次郎
屋良栄保
当間嗣祐
眞座康徳
親川一男
佐久政晃
宮城宗久
眞座善行
仲本銀徳
沢岷安義
当間重祐



者 帶 運 長 隊

三遊作命才十六號

才三遊擊隊命令

一部隊一部ヲ以テ才一特務班陣地構築ヲ援助セントス

二各隊自二月一日間毎日兵五ヲ本部前ニ差出シ才一特務班

堀内軍曹指揮ヲ受ケシムベシ

三才谷又岳據点ニ在リ

才三遊擊隊長  
村上治夫

下達法命令受領者ヲ集メ口達筆記  
報告(通報)口支正遊一特

特

一月廿一日  
谷又岳

